

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和2年 7月15日 NO.56

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

6月定例会

新型コロナウイルス感染予防対策に予算措置

総額10億4328万円(4.5.6月)

6月定例会は15日から23日まで開かれ、令和2年度各会計補正予算、条例の一部改正など19議案を審議し、原案のとおり可決・承認しました。また繰越明許費繰越計算書、平成30年度各第3セクター経営状況などの報告がありました。

6月補正予算は表(総括表は次ページ)のとおりです。

4.5.6月合計で12億1688万円の増額補正となりました。

コロナ感染予防に追加補正

昨年の10月には発生したと言われる新型コロナウイルスは世界的な蔓延となり、世界で累計感染者数は1150万人を超え、累計死者も53万5千人を上回りました(20.7.7現在)。

日本では、世界的に見て対応が遅いと言われながらも、感染者数、コロナ原因の死亡者数も少なく推移しています。日本人特有の生活習慣に加え、コロナには負けないぞ

という高い道徳感によるものだと思います。

我が町の対策としては、4月上旬に感染予防対策本部を立ち上げ情報の開示と啓発に努め、議会との協議を基に4月専決にて町独自事業としてマスク・消毒液などの予防物品確保、小規模事業者への支援(売上30%減少)、5月臨時議会にて、国の特別給付金事業(10万円/人)、子育て世帯への支援などコロナ対策補正を行いました。

6月定例会では、事業者支援の追加、プレミアム高原通貨追加、高齢者施設等への支援などコロナ対策として、また災害復旧費、町道維持、神石地区の診療所購入など追加補正しました。詳しくは次表で。

令和2年4.5.6月補正(一般会計)

(単位:万円)四捨五入

| 費目 | 4.5補正予算 | 6補正予算 | 補正後予算 | 主な内容 |
|-------|---------|---------|----------|--|
| 議会費 | | 4 | 8619 | |
| 総務費 | 9億0418 | -▲186 | 41億7135 | ★庁舎管理経費(窓仕切)43、★子育て世帯緊急支援事業(町通貨5000/保護者)257、特別定額給付事業(10万/1人)9億0036、かがやきネット541(6月)、宝くじ小島250(6月) |
| 民生費 | 1036 | 1,507 | 18億5033 | 子育て世帯への臨時特別交付金交付事業(1万/1人)880、★児童扶養手当受給者に対する特別給付金給付事業(ひとり親)156、町デ'イサービスセンターなど高齢者施設等コロナ対策710(6月) |
| 衛生費 | 195 | 3,586 | 14億7516 | ★感染予防など予防対策(防護服、マスク、アルコールなど)195.5、公有財産取得2186(6月) |
| 農林水産費 | | -▲4,017 | 8億7548 | 地籍調査▲3973(6月)、 |
| 商工費 | 3167 | 5,129 | 1億8979 | ★事業継続・雇用維持支援事業(法人50万、個人20万)3000、県休業補償給付事業(1/3町負担)167、商工会育成(プレミアム通貨)350(6月)、★事業継続追加4500(6月) |
| 土木費 | | 2,528 | 3億4736 | 町道維持補修2000(6月)、小野橋575(6月) |
| 消防費 | | | 4億1177 | |
| 教育費 | | 4,134 | 7億5495 | スクールバス1089(6月)、電子黒板・スタント'1998(6月)、 |
| 災害復旧費 | | 7,265 | 18億5677 | 過年度農地農業施設7062(6月)、道路橋梁203(6月) |
| 公債費 | | | 13億1894 | |
| 諸支出金 | | 415 | 3億2372 | 保健医療福祉基金積立347(6月)、医療事業者確保基金積立68(6月) |
| 予備費 | | | 4000 | |
| 合計 | 9億4816 | 2億0365 | 137億0181 | |

なにがどうなる

条例改正など

おもなもの

＜税条例などの一部改正＞

○新型コロナウイルス感染症経済対策関連（全額特別交付税にて補填）で一部改正されました。

- * 固定資産税…中小企業者事業用家屋・償却資産の軽減措置など
- * 軽自動車税・・・環境性能割臨時的軽減の適応期間6カ月延長
- * 税全科目・・・・徴収猶予特例規定の期限への町条例期間の準用
- * 国民健康保険税・介護保険税の一部改正

・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した者に、「全額免除」、「基準に応じて減額」と要綱で定め、期間を設定し減免する。

⇒詳しくは、町公報など町からの公報をご参照ください。

＜工事請負契約の締結＞

◆新庁舎の建設がいよいよ始まります。（完成：令和3年8月20日）

○神石高原町新庁舎建設工事（請負金額・1,636,692,275円／請負者・戸田建設株式会社 広島支店）

◆広域農道の（油木～高光）の災害復旧工事が始まりました。（完成：令和4年1月31日）

○広域農道（1）道路復旧工事（請負金額・252,890,000円／請負者・株式会社後藤組）

＜財産の取得＞

◆GIGAスクール構想によるタブレットパソコンの購入

○神石高原町立小中学校情報機器＝教育用PCモニター570台、キーボード脱着式2in1型タブレットPC、OS Windows10、クラウド型授業支援システム、クラウド型学習ソフト（契約金額・50,285,400円）

令和2年度予算会計別総括表

単位：万円（四捨五入）

| 会計名 | R2年度 | 令和元年度 | | | |
|-------------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 当初予算額 | 4・5月補正額 | 6月補正 | 6月補正後予算 | |
| 一般会計 | 125億5000 | 9億4816 | 2億0365 | 137億0181 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 10億2440 | 116 | 965 | 10億3521 |
| | 後期高齢者医療 | 3億7910 | | 300 | 3億8,210 |
| | 介護保険 | 18億1600 | | 3981 | 18億5,581 |
| | 簡易水道事業 | 2億5000 | | 414 | 2億5,414 |
| | 飲料水供設事業 | 3800 | | 200 | 4,000 |
| | 農業集落排水事業 | 2億8320 | | 531 | 2億8,851 |
| | 分収育林事業 | 10 | | | 10 |
| | 総合開発事業 | 180 | | | 180 |
| | 特別会計計 | 37億9260 | 116 | 6391 | 38億5,767 |
| 病院事業会計 | 9億3198 | | | 9億3,198 | |
| 合計 | 172億7458 | 9億4932 | 2億6756 | 184億9146 | |
| 特別会計＋病院事業会計 | 47億2458 | 116 | 6391 | 47億8,965 | |

令和元年度事業で、令和2年度に繰越されるもの（主なもの）

- ・小中学校ネットワーク環境整備 8375万円
- ・i82ステーション改築 560万円

令和元年度繰越額が確定

- ・道路橋梁補助災害復旧事業 1億3457万円
- ・過年度発生農地農業施設災害復旧 2億686万円
- ・7億4675万6155円

第三セクター 奮戦中 平成31年度決算

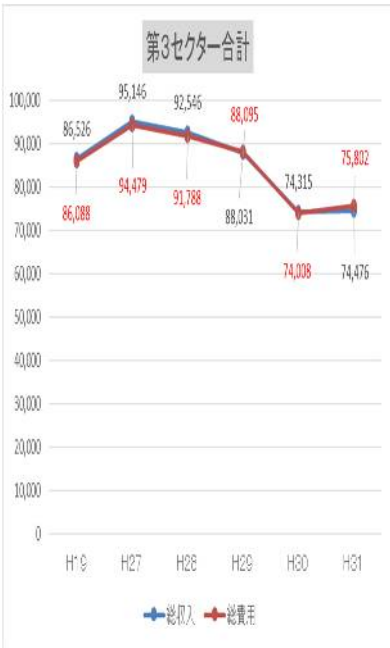
平成30年度第3セクターの決算報告がありました。182ステーションをはじめ全て売上高が増加しています。
(株)スコラを除き、全て赤字決算となりました。

さんわ182ステーション 売上明細表

| | | 売上 |
|------|-----|---------|
| 市場 | 売上高 | 3億3,412 |
| 売店 | 売上高 | 2,343 |
| 軽食 | 売上高 | 478 |
| 自販機 | 売上高 | 333 |
| その他 | 売上高 | 159 |
| ローソン | 売上高 | 1億5,112 |
| 加工品 | 売上高 | 441 |
| 合計 | | 5億2,278 |

さんわ182ステーション

年間を通して来客数44万を超え総売上高ともに昨年度を上回りました。食堂を業務委託している「高原の風」の来客数は2万8141人で前年度



*表の見方 単位：万円
上段の数値：総収入
下段の数値：総費用

毎年6月定例会では第3セクターの決算報告があり、会報の7月号では毎回その特集を組んでいます。今年新型コロナの影響もあり単純比較はできないもののそれぞれに創意工夫し営業活動に邁進され敬意を表します。

対比2%減。油木百彩館支店は売上6069万円で16%の減。ローソン部門の売上は昨年に引き続き360万円(約2%)増を確保しました。町からの各指定管理料収入約346万円。他に、運賃経費補助として1020万円、新規ボスシステム、フードコート厨房機器など特別補助金が1038万円計上されています。ローソンについては、8年を経過し、経営収支は、地域性、冬季の道路条件、フランチャイズ店での店舗展開など、問題、課題は

開店初年度とあまり変わりの無く経営は厳しい。31年度は320万円の損失となりました。単純計算ですが、31年度決算から一般管理費合計額(1億3610万円)を固定費と仮定すると、粗利率が22%なので、損益分岐点は6億2千万円弱となり、新店舗での売上げ伸び率を勘案すれば難しい数字ではありません。農産物の確保、加工品の生産増、フードコートの売上増、ローソン、百彩館の赤字体質の改善など課題解決に取り組み、新しく令和時代を迎え、地域拠点としての「道の駅」の役割を再認識し、更なる発展・飛躍を期待します。

農業公社

毎年5〜600万円の運営補助により黒字を確保していましたが今年度は赤字会計となりました。調整事業・農林支援事業に加え田植、育苗、トマトなど他事業も減収となりました。公社の事業は、公益部分も多く赤字体質は仕方ありませんが、農業委員会からの要望にあるように小規模農家支援、農地荒廃防止のため事業体制の強化改善は必至と思われまます。また、地域農業を守るために、活動エリアを町全体に拡大することも公社の事業増大・経営安定も含め、再検討すべきと考えまます。

帝釈峡スコラ

一昨年は待望の「帝釈の湯」「スコラ高原荘」リニューアルが完成しました。31年度は、長年の補助金体質から脱却し増収増益に向け好調な滑り出しで好結果が期待されましたが、新型コロナの来襲のため売上・純利益ともに微増に終わりました。新型コロナ対策としては観光地としての安心な旅行、観光に最適な地であることの発信・見える化が必要で他観光地との差別化も必要と考えまます。関係団体との連携を密にし、一日も早く正常運転に戻られることを期待します。町補助金は898万円。

令和元年度「第3セクター」の運営状況は

①道の駅さんわ182ステーション

3億円を超える投資により、フードコートの新設と店舗の新築リニューアルが実施された。平成30年2月から令和元年11月のリニューアルオープンまでの長期間にわたる工事期間における影響は多大なものがあったと思います。令和元年度の決算状況と、課題と対策を。

②(株)神石高原農業公社は、平成30年度は27万円の黒字会計だったが今回はどうか。また、今年度から長年勤められたベテランの役員がご勇退と聞いた。新規役員を迎え、今後の農業公社の在り方について基本的な考え方を伺う。

③(株)帝釈峡スコラは、平成30年度は7月の西日本豪雨、帝釈の湯改築工事の影響などで大幅の売上減に見舞われた。今年度はどうだったか。

町長 ①182ステーションの全体売り上げは、5億2278万円で6.7%3265万円の増加。しかし新規職員採用による経費増や売店の休業、百彩館などの売上減により1221万円の赤字決算。課題は、産直市場の地元野菜・製品の確保、ローソンは赤字体質の解消、百彩館では売上減への早期対応などだ。また、課題を整理し、産業課、高原の風、観光協会などと連携強化を図り地域情報の発信と利用客の誘導を図りたい。

木野山 産直市場の統合が完了したが、町全体の産品出荷額、農家所得の向上に繋がったか。
町長 今の状況で判断すれば3年内に目標達成できそう。
木野山 エブリイさんへの出荷額は。
産業課長 9800万円で前年度対比70%程度だった。
木野山 赤字の要因は人件費と言われるが、認識は。
町長 ローソンも含め、この部分は見直しするように、町もしっかりと関わりたい。

町長 ②神石高原農業公社は、売り上げはほぼ横ばい、最終決算で231万円の赤字。新規職員採用による人件費増、ドローン作業の外注費増が大きな要因だ。黒字転換・補助金依存体質の脱却を図りたい。

木野山 コロナ感染防止対策による影響と対策は。
町長 182ステーションでは可能な限りの感染予防対策を取った。幸いに感染はなかった。営業には大きな影響を受けたがリニューアル効果もあり単純比較は出来ない。今後は、イベントの積極的な展開、ネット販売強化、他の道の駅との連携などにより売り上げ増に繋げたい。
木野山 農業公社は消毒液配置、マスク着用など防止対策を取った。売り上げや運営に特に影響は無い。
帝釈峡スコラは、戦略的なPR活動の強化、大学や旅行代理店への営業活動の再開、企業向けテレワークプランの提供、レトルト商品のネット販売などを計画している。



R2.6.24 庁舎建設安全祈願祭

コロナ感染防止対策と学習指導要綱
木野山 感染防止のため指導内容の変更があるのか。子供たちの学習内容、学力への多大な影響を危惧するが、対応は。
教育長 感染症防止対策を講じてもなお感染リスクが高い学習活動については、可能な限り対策を行う。カリキュラムを見直す際は、学習指導要領に規定されている指導内容を明確化し、指導方法を柔軟に見直すことが求められる。
教育委員会としては、各学校における実施状況を把握し、不十分であれば、必要な指導助言を行う。各学校とも、創意工夫して行っており、今までと同じような授業の流れで展開している。その点理解いただきたい。

木野山 感染予防対策が優先され機会均等が失われないよう、環境整備については、子供たちそれぞれの個性によって差がないような方を創意工夫して頂きたい。